

令和6年度 職員自己評価

職員自己評価については、集計を取りグラフ化しています。また、職員の記述については、園長の返答のみ記載し、反省点、改善点を踏まえて、今後の取り組むべき課題について報告します。

『教育・保育目標の理解と実践』

・幼児部の正職の働き方では、特に今年度から1クラスになった年少クラスについては、職員配置がぎりぎりの為、時間が持てない等の問題が出てきています。また、来年度も同様、年少・年中ともに1クラスとなりますが、現状、正職を1クラスに2人配置することは難しいため、15時以降に職員を一人配置できる体制を作っていけるよう対応します。また、事務（記録等）の時間の確保や精査については、記録の書き方を簡素化し負担を軽減していく方向で現在進めています。

・今年度は常勤職員の勤務日数を一律にしておりましたが、来年度は個人の希望を聞いて判断します。

・キッズビューの出欠連絡アプリを導入する準備に入っていますので、出欠簿に関しては二度手間にならない対応ができる予定です。朝や夕方の電話連絡も軽減できると思います。また、職員のタイムカードも、出欠アプリでの対応を検討しておりますので、その場合、現在使用しているタイムカードは不要となります。今後も、職員の負担を軽減できるようなアプリの導入を、職員と話し合いながら検討していきます。

・職員同士のコミュニケーション、情報の共有、違いを認めて尊重し合うことの大切さを改めて感じています。会議や休憩等で、このようなコミュニケーションの場を作っていけるような工夫を全体で考えたいと思います。

・着替え等の入れ間違いについては、特に頻繁に起きているクラスは十分に注意して下さい。なぜ間違いがおきるのかを振り返って、クラスでも共有して下さい。

・表現、作品展については、子どもの成長、職員の成長に必要な行事として開園当初から大切にしてきました。但し、行事の為の表現、作品にならないようにして下さい。日々の保育の中で表現したいもの、制作したものを子どもたちと一緒に作り上げてほしいと思います。内容の精査は必要ですが、保育において何一つ不要なものはありません。

・外遊び中の怪我に関しては、防ぎようのない怪我はどうしてもおきてしまいますが、まず、外遊びではそれぞれの持ち場を決めて、離れないようにして下さい。

『保護者対応』

保護者対応について、保護者とのコミュニケーションが難しい職員がいる、とのことでした。コミュニケーションの得手、不得手はあります。もちろん、本人の努力も必要です。気づいた職員がその場で教え伝えてあげることが一番の方法です。皆が手本になるような言動をとってほしいと思います。また、今後も研修の場を設けるよう、計画を立てていきます。

また、園児の怪我に関しての保護者対応ですが、園の説明会やしおりで事前に伝えるようにしますが、園長、主幹で対応する場合がありますので、報告、連絡、相談は必ず行ってください。

『環境・給食』

・給食に関しては、厳しい評価も多数あり、食材費の見直しや検討が必要であると感じました。食材費の高騰はありますが、保護者への給食費の値上げは現時点では考えておりません。但し、職員の給食費に関しては4月から値上げの方向で考えています。その中で、幼児部、乳幼児部での平等性は保てるよう、給食室とも話し合っていきます。18時半以降のおやつですが、状況を見て提供する日、し

ない日等あるようなので、今のところはおやつ代の徴収は考えておりません。但し、令和7年4月1日～18:00以降は延長料金として100円を徴収していきます。

・今後、玩具等購入が必要な場合は職員会議で知らせてもらい、全クラスで情報共有していきますので、クラスの連絡事項に書いて下さい。また、園庭遊具に関しては優先順位を決めて購入、修繕をしていきます。その場合も、会議で情報を共有していきたいと思います。破損や修理に関しては、子どもたちが危険な場面があったとのことでした。まずは、子どもの怪我や事故が起こらないよう、修繕の優先順位を決めて実行していきます。雪組の扉については現在も停滞しており申し訳ありません。業者からは半年待ちと言われていました。

『自由記述』

- ・園長、副園長、主幹共に今後、子どもたち、そして職員とのコミュニケーションを取り、お互い言葉や意見を言い合える関係を作っていけるよう努めてまいります。
- ・職員の異動に関してはお話した通りですが、不安や心配の声が上がったことは申し訳ありませんでした。今後異動があった場合は、事前に保護者への説明をしていきます。
- ・ネット環境も整備されたので、今後のリモート研修は職員室以外の部屋で行うようにします。
- ・クラスの持ち上がりに関しては、できる限り考慮していきますが、場合によっては困難な場合もあるかもしれません。その場合は、慣らし期間（5月まで）を設けていく方向で考えています。
- ・面談については、今後は年間を通して（年末、年度末ではなく）全職員に対して行っていきます。

今年度においては、説明が不足している中で職員の急な異動等があり、職員の皆様には心配や不安を抱かせることになってしまったことは、申し訳ありませんでした。園児の減少やクラスの減少に伴い、働き方についても形態を変えていかなければならないと考えていますので、その場合は職員と情報を共有し、話し合いながら進めていきますので、宜しくお願いします。

しかし、保護者の皆様からは職員に対する感謝の気持ちや、安心感といったお言葉も沢山いただいております。職員の皆様には、今後も保護者の皆様からの声を受け止めながら、子どもたちの声に寄り添った保育をしていただきたいと思います。園としても、職員が安心して保育できる体制作りを実践してまいります。

みのりこども園 園長
深草 誓弥